



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社KVK  
コード番号 6484 URL <https://www.kvk.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末松 正幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長兼情報システム部長 (氏名) 北川 喜一 TEL 0574-55-0006  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	22,876	4.1	2,059	12.2	2,403	13.8	1,677	16.1
2025年3月期第3四半期	21,979	△1.7	1,835	3.7	2,112	11.8	1,444	20.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,354百万円 (73.7%) 2025年3月期第3四半期 1,355百万円 (△10.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 209.28	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	円 銭 180.83	円 銭 —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 35,571	百万円 30,051	% 84.5
2025年3月期	百万円 36,276	百万円 28,325	% 78.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 30,051百万円 2025年3月期 28,325百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 75.00
2026年3月期	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2026年3月期（予想）	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	2.9	2,700	1.5	2,800	△8.9	1,900	△10.0	237.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	8,322,178株	2025年3月期	8,322,178株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	294,433株	2025年3月期	314,794株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	8,017,553株	2025年3月期3Q	7,990,055株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 5
四半期連結損益計算書 .....	P. 5
四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 7
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	P. 7
(セグメント情報等の注記) .....	P. 8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復基調となりましたが、先行きは、米国の通商政策による影響や物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響など、景気を下押しするリスクが懸念されます。また、住宅市場におきましては、物価高や建築資材価格の高騰に伴う住宅価格の高止まりおよび住宅ローン金利の上昇傾向による住宅取得マインドの低迷もあり、新設住宅着工戸数は、10月は回復の兆しもありましたが、前年同期比で減少傾向が続いており厳しい状況となりました。

このような状況のなか、当社グループは、お客様への新たな価値の提供を目指し、重点戦略に取り組んでまいりました。

近年、造作洗面やセカンド洗面の需要が増加しており、洗面用水栓に求められるデザイン、カラーも多様化しています。この度、本体径φ35のスリムボディを採用した洗面用水栓において、従来の4色展開に加え新たに4色を追加計8色のカラーバリエーションを展開し発売しました。スリムボディを採用していることから、コンパクトで省スペースな洗面台にマッチし、且つ豊富なカラーバリエーションから選ぶことで、より美しい洗面空間を実現することができます。

生産面においては、K P S (KVK Production System) 活動を柱に最適生産を目指し、あらゆる無駄の排除とコスト競争力の強化を推し進めています。昨年7月にN P S研究会による巡回研究会を開催したことを皮切りに、社内でのK P S活動がより活性化し、11月から12月にかけて飛騨古川工場において社内自主研究会を開催しました。対象ラインから多くの課題を抽出し、改善したことにより生産性向上につながりました。引き続き、自主的な研究会を定期的で開催し、改善活動を活発に行い生産性の向上につなげていきます。

また、販売面においては、当社の販売代理店・特約店で構成する全国K V K会の地区大会を、関西地区、東北地区にて開催してまいりましたが、10月には関東地区にて開催しました。お取引先の皆様と親交を温め、管工機材販売ルートとの連携強化を図ったことにより、売上向上に貢献しました。

当第3四半期連結累計期間における連結業績につきましては、住宅市場が厳しい状況であるものの、得意先への受注活動に注力した結果、各商流にて当社の主力商品であるシングルレバー式水栓およびサーモスタット式水栓の受注増加もあり、売上高は過去最高の22,876百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は2,059百万円（前年同期比12.2%増）となりました。新工場棟建設に伴う土地および建物の取得に関する補助金の交付もあり経常利益は2,403百万円（前年同期比13.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,677百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

資産は、前連結会計年度末に比べ704百万円減少し、35,571百万円となりました。これは主に投資有価証券が1,153百万円増加した一方で、現金及び預金が1,729百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,430百万円減少し、5,519百万円となりました。これは主に仕入債務が1,871百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,726百万円増加し、30,051百万円となりました。この結果、自己資本比率は84.5%（前連結会計年度末は78.1%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における2026年3月期通期の業績予想につきましては、住宅市場は厳しい環境にあるのに加え、主要な原材料である銅の国内相対取引の建値が依然として高止まりし、また物価の上昇による仕入コストの増加および為替・金利の変動もあり、不透明な状況で推移するものと予想され、2025年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,455,618	3,725,640
受取手形	967,040	91,943
売掛金	3,849,620	3,991,476
電子記録債権	6,146,733	6,735,750
商品及び製品	1,009,917	1,012,841
仕掛品	1,378,594	1,443,719
原材料及び貯蔵品	1,862,506	1,934,174
その他	263,849	450,218
貸倒引当金	△120,700	△131,300
流動資産合計	20,813,181	19,254,463
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	3,811,343	3,859,030
土地	2,007,141	2,084,094
その他(純額)	4,034,323	3,566,237
有形固定資産合計	9,852,808	9,509,363
無形固定資産		
無形固定資産	621,076	649,930
投資その他の資産		
投資有価証券	1,686,605	2,840,158
投資不動産	2,338,887	2,303,441
退職給付に係る資産	768,011	816,632
その他	195,773	197,789
投資その他の資産合計	4,989,278	6,158,021
固定資産合計	15,463,163	16,317,315
資産合計	36,276,344	35,571,779

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,490,624	1,708,211
電子記録債務	2,817,802	728,641
未払法人税等	526,720	201,988
賞与引当金	465,194	235,801
製品保証引当金	149,000	153,000
その他	1,928,002	1,736,817
流動負債合計	7,377,344	4,764,460
固定負債		
退職給付に係る負債	62,931	61,264
役員株式給付引当金	304,307	293,917
資産除去債務	43,620	43,620
その他	162,475	356,668
固定負債合計	573,333	755,470
負債合計	7,950,677	5,519,930
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,854,934	2,854,934
資本剰余金	3,023,334	3,023,334
利益剰余金	22,063,635	23,079,853
自己株式	△494,767	△461,832
株主資本合計	27,447,136	28,496,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291,410	764,543
為替換算調整勘定	460,898	666,019
退職給付に係る調整累計額	126,220	124,996
その他の包括利益累計額合計	878,530	1,555,559
純資産合計	28,325,666	30,051,848
負債純資産合計	36,276,344	35,571,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	21,979,010	22,876,527
売上原価	16,481,685	17,077,713
売上総利益	5,497,325	5,798,814
販売費及び一般管理費	3,662,060	3,739,649
営業利益	1,835,264	2,059,165
営業外収益		
受取利息	302	3,900
受取配当金	13,542	18,399
投資有価証券売却益	216,345	—
投資不動産賃貸料	128,491	126,356
補助金収入	—	298,274
その他	82,916	84,452
営業外収益合計	441,598	531,382
営業外費用		
売上割引	34,905	32,919
投資不動産賃貸費用	73,664	77,976
為替差損	53,517	74,239
その他	2,627	2,228
営業外費用合計	164,714	187,363
経常利益	2,112,149	2,403,184
特別利益		
固定資産売却益	3,862	21,040
特別利益合計	3,862	21,040
特別損失		
固定資産売却損	—	1,694
固定資産除却損	5,328	4,259
特別損失合計	5,328	5,953
税金等調整前四半期純利益	2,110,683	2,418,271
法人税、住民税及び事業税	592,291	665,768
法人税等調整額	73,494	74,544
法人税等合計	665,786	740,313
四半期純利益	1,444,897	1,677,958
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,444,897	1,677,958

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,444,897	1,677,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△142,795	473,132
為替換算調整勘定	51,067	205,120
退職給付に係る調整額	2,303	△1,224
その他の包括利益合計	△89,424	677,029
四半期包括利益	1,355,472	2,354,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,355,472	2,354,987

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	778,943千円	807,279千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社グループは、給水栓・給排水金具・継手及び配管部材の製造・加工・仕入れ及び販売を主事業とする専門メーカーで、所在地別セグメント情報を報告セグメントとしております。

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	フィリピン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,623,544	355,466	—	21,979,010	—	21,979,010
セグメント間の内部 売上高又は振替高	177,490	4,514,803	229,277	4,921,572	△4,921,572	—
計	21,801,034	4,870,269	229,277	26,900,582	△4,921,572	21,979,010
セグメント利益又は損 失(△)	2,070,807	288,284	△3,475	2,355,616	△520,351	1,835,264

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△520,351千円には、セグメント間取引消去31,588千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△583,990千円、棚卸資産の調整額32,049千円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	フィリピン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,490,030	386,497	—	22,876,527	—	22,876,527
セグメント間の内部 売上高又は振替高	227,221	4,745,618	272,880	5,245,720	△5,245,720	—
計	22,717,251	5,132,115	272,880	28,122,248	△5,245,720	22,876,527
セグメント利益	2,252,866	246,223	7,379	2,506,469	△447,303	2,059,165

- (注) 1. セグメント利益の調整額△447,303千円には、セグメント間取引消去41,804千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△538,338千円、棚卸資産の調整額49,229千円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。